

# かさぐるま

36号  
連携の風

## SPECIAL 救命救急センターのご紹介



救命救急センタースタッフ

### CLOSE UP

- 市立札幌病院創立150年の歩み

### TOPICS

- デュアルエネルギーCTを導入しました

### INFORMATION

- 連携医療機関のご紹介『桑園駅前内科クリニック』



## 市立 札幌病院

### ● 基本理念

すべての患者さんに対して  
その人格・信条を尊重し  
つねに“やさしさ”をもって診療に専心する

### ● 運営方針

- ① 患者さんの人格を尊重し、患者さんに信頼される医療を行います。
- ② 地域医療支援病院として、地域医療の充実・発展に貢献します。
- ③ 高度急性期・急性期医療を担い、安全で質の高い医療を提供します。
- ④ 自治体病院として他の医療機関では対応が困難な政策医療を提供します。
- ⑤ 医療技術の向上を図り、優れた医療従事者を育成します。
- ⑥ 全職員が連携し、信頼しあう、明るく誇りの持てる「チーム市立札幌病院」を作ります。
- ⑦ 公営企業として健全な財政運営を図ります。



# 救命救急センターのご紹介

～集中治療を必要とする重症患者を診ています～

私たちは3次救命救急センターとして集中治療室での管理を必要とする重症患者の受け入れをしております。表紙の写真はセンター内のスタッフのごく一部です。医師、看護師はもちろんのこと、薬剤師、臨床工学技士、理学療法士、放射線技師、栄養士、看護助手、クラーク、MSW等あらゆる職種のスタッフとともに「究極のチーム医療」を目指しながら、個々の患者に合わせた最上の診療をおこなっております。

内因性・外因性疾患を問わず24時間365日救急医が常駐しておりますので、お困りのことがございましたら是非ご連絡ください。



## 1 救命救急センター？ 救急科？ 救急部？ 違いを教えてください

市立札幌病院 救急は昭和58年に発足した各科医師の集まりによる「救急医療部」を起源としています。院内・院外問わず、「救急部」とおっしゃる先生方が多いのはこの昔からの伝統のためだと思います。救急「部」というのを「科」の垣根を超えた様々なspecialistの集団という意味でとらえますと、非常に魅力的ですし、否定する理由は全くありません。現状は、平成5年に救命救急センターとして認可され、平成20年に救急科が独立した診療科として標榜可能になり、各科混成部隊ではなく、救急科医師のみで構成されています。

## 2 どんな人たちがいるの？

救急科医師 6人 + 後期研修医 2人 + 初期研修医 1～3人 / 月

救急科医師は全員救急科専門医を取得しており、かつsubspeciality (ダブルボード) を持っています。

### ●Subspeciality (延べ人数、重複あり)

- ・集中治療専門医 1人
- ・外科専門医 2人
- ・麻酔科専門医 1人
- ・形成外科専門医 1人
- ・小児科専門医 1人
- ・麻酔科標榜医 2人

その他に循環器内科医 9人でCCUを管理しています。

### <看護師>

ICU 19人、HCU 21人、CCU 16人

救急外来看護師は上記各ユニットとは別に独立した看護単位として存在します。

このうち、集中ケア認定看護師2人、救急看護認定看護師2人、急性・重症患者看護専門看護師1人と専門を有する看護師が複数います。

### <その他>

- ・救命救急センター担当薬剤師 3人 (兼務)
- ・臨床工学技士
- ・理学療法士

毎朝のカンファレンスは、これら多職種が集まって行っています。



### 3 どんなことをしているの？

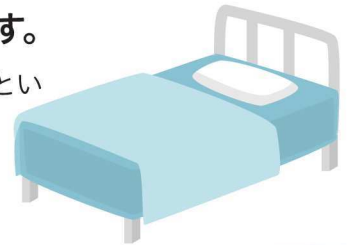
疾患にかかわらず、一般病棟では対応不可能な重症患者の急性期管理をしています。

人工呼吸器、持続透析、人工心肺、大動脈バルーンポンピング等の各種機械をつけた管理がイメージしやすいと思いますが、疾患としては、敗血症、重症肺炎、熱傷、外傷、心肺停止蘇生後、けいれん重積、中毒、熱中症、偶発性低体温等、ジャンルを問わず診療しています。依頼元は、救急搬送、院内急変（術後管理含む）、院外からの紹介で、院内院外問わず、様々なルートで、様々な疾患に対応しております。

### 4 どんな体制なの？

ICU 8床+HCU 22床+CCU 8床（このうちPCCU 4床）あります。

救急科医は日勤2-3人、夜勤2人の2交代制、CCUは循環器内科医当直医1人という体制で外来患者初療・各ユニットの患者管理をおこなっています。



### 5 どんな患者さんに対応してもらえるの？

3次救急（集中治療を必要とする重症患者）を担当しています！

① 重症・救急患者発生！

② 市立札幌病院（代）011-726-2211に電話  
電話交換『3次救急でよろしいですか？』

③ はい、3次救急です

④ 救命救急センターの医師にお繋ぎします  
24時間体制 365日対応



※ 3次以外の救急についても対応しています（臨床研修センター・当直医等が担当します）

市立札幌病院では、2017年5月より、3次以外の救急患者の対応を行っております。これは、地域医療支援病院として、主に市内の2次救急体制のバックアップを目的に実施しているもので、夜間急病センターや2次救急当番病院に優先するものではありません。

2次救急当番が決まっている疾患は、まず当番病院へご相談ください。その結果、当番病院で受入れが困難な場合は、ぜひ当院へご相談ください。対応可能な診療科へお繋ぎいたします。



# 市立札幌病院 創立150年の歩み

明治

大正

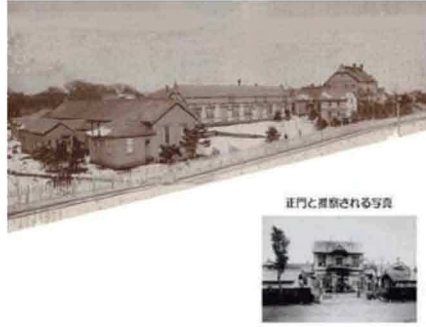
昭和

## 明治2年開設



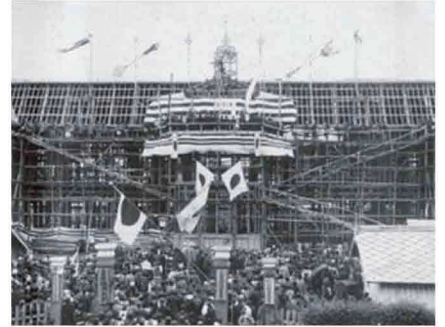
北海道開拓使により北3条東2丁目付近に設置された、仮病院の外観  
当院の最初期の写真(明治6(1873)年)

※現在、北海道開拓の村に移設・復元



明治20(1887)年、第3代院長にドイツ人医師グリムが就任  
北海道庁長官の永山武四郎に新病院の建設を進言し、北1条西8・9丁目に新築移転が決定。上は大正時代の写真

※大正9(1920)年、失火により上記の建物の大部分が焼失



焼失後、すみやかに本館等の再建が決定し、入院患者を250名収容できる院舎の建設が始まる。  
写真は、大正11(1922)年、本館の棟上式の様子

※この年、札幌区は札幌市となり、市立札幌病院となる。

## 創立150年を迎えて

院長 向井 正也

当院は明治2年に開設された開拓使の病院を起源とし、本年9月25日に創立150年を迎えました。

本号では、写真等で当院の歴史の一部を紹介させていただいておりますが、それぞれの時代で地域の皆様に支えられながら、これまでの歴史を歩んでまいりました。

医療を取り巻く環境は依然として厳しいものでありますが、これまで以上に地域の医療機関の皆様と協力し合い、地域医療の発展に貢献してまいりたいと考えております。

多くの皆様から今日までにいただいたご支援、ご協力に感謝を申し上げますと共に、150年の歴史ある病院としての責任を持ち、地域の皆様から信頼される病院を目指してまいります。

今後とも当院へのご指導等、どうぞよろしくお願いいたします。



再建された市立札幌病院



昭和12(1937)年9月25日、82年前の創立記念日 職員集合写真





# 昭和

# 平成



昭和31(1956)年には鉄筋コンクリート造の新本館が落成  
上は昭和41(1966)年頃の空撮



平成7(1995)年6月、現在地に新病院が完成  
10月9日に移転が始まり、11日に開院  
写真は平成10(1998)年頃の空撮



昭和44年(1969)頃の病院全景



平成7(1995)年10月9日、現在地への移転当日。  
慎重に患者さんの移送を行うスタッフたち



平成2(1990)年頃の院内の様子  
左上: 外来受付、右上: 総合案内、左下: 待合室  
右下: 内科処置室前



平成30(2018)年9月6日、北海道胆振東部地震発生後の  
院内。非常用電源が立ち上がり、対策本部が置かれた。

## 病院所在地の変遷

明治39年 札幌市市明通案内図に記された区立札幌病院

区立札幌病院～市立札幌病院  
明治24(1891)～平成7(1995)年

草創期の札幌病院  
(明治4(1871)～24(1891)年)



## デュアルエネルギー CT を導入しました

放射線部 部長 貴志 孝行

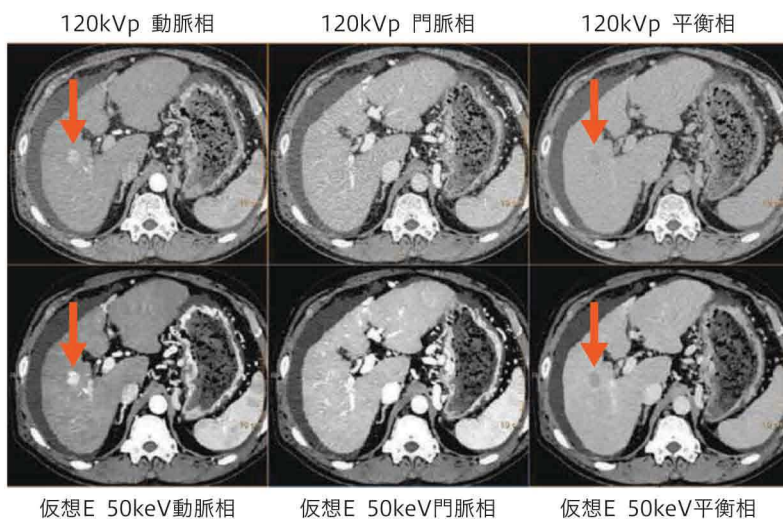
9月より、2層型検出器方式のDual energy CT装置に更新しました。Dual energy CT装置では、仮想的に任意のX線エネルギー画像を作成することで、少ない造影剤使用でもコントラストを増強する事ができるため、造影剤量の合理的な低減も可能となります。

また実効原子番号解析による物質弁別も可能となるため、尿路結石等の成分分析も可能となります。その他にもDual energyならではの新機能も多くありますのでMRI検査、核医学検査と合わせ、是非当院CTをご利用下さい。



IQonスペクトラルCT(PHILIPS社製)

### 仮想的に X 線エネルギーを変更することで造影効果を強調できる例



上段は、従来のX線エネルギーで得られた画像です。

下段は、撮影後に仮想的に単色50keVのX線エネルギーで作成した画像です。

※これらの画像データは1度の造影撮影で得ることができます。

120keVの画像では動脈相で淡く造影されている病変が、仮想50keV画像では明瞭に強調され、平衡相のWashoutも良く描出されているのが分かります。

この様に、デュアルエネルギー CTでは、任意の仮想X線エネルギーのCT画像を検査後に作成できることに加え、実効原子番号を知ることができるので成分分析が可能となります。

#### ■高度医療機器の共同利用の受付窓口

- 札幌市医師会会員の医療機関さま(地域医療室直通) ..... TEL 011-707-7705  
FAX 011-707-7706
- // 以外の医療機関さま(地域連携センター直通) ..... TEL 011-726-7831  
FAX 011-726-7832

#### ■検査結果の確認には『すずらんネット』をご利用ください

当院のICT連携『すずらんネット』は、「インターネット環境」「患者さんの同意」※の2つが揃うだけで、高度医療機器の画像データだけではなく、血液・細菌検査結果、内服、医師・コメディカルの診療記録等が24時間閲覧可能となります。さらに登録料、年会費等はいただいております。

ぜひ、高度医療機器とセットでご利用ください。

詳しくは、「すずらんネット」で検索いただくか、すずらんネット運営事務局(011-726-2211内線2934)までご連絡をお願い致します。

※インターネット環境には、一部条件があります。

連携医療機関のご紹介



院長 佐藤 進一

●ごあいさつ

当院は、北のたまゆら桑園の向かい側のマンション1階にある内科クリニックです。

自身は、北海道大学第一内科出身で、呼吸器内科の教室ですが、診療では消化器疾患を専門としており、消化器疾患と呼吸器疾患を合わせて専門的に診断・治療できるのが当院の特徴です。診療内容の一部をご紹介します。

(消化器・内視鏡内科)

消化器病・消化器内視鏡専門医ですので、当院では専門医による内視鏡検査、超音波検査が受けられます。胃の内視鏡検査は、空腹であれば、当日来ていただいても受けられるようにしていますので、ご紹介いただければと思います。胃の内視鏡検査を受けられた患者さんからは、以前に他院で受けたときより楽だったと評価をいただいています。ヘリコバクター・ピロリの除菌も積極的に行っています。

大腸内視鏡検査は、健康診断で便潜血反応陽性の方や便秘、下痢、腹痛が続く方に行っています。自覚症状がなくてもポリープやがんの症例も多いので、40歳以上になったら、一度検査を受けた方がいいと思います。自分も定期的に検査しています。

早期に検査が可能ですので、患者さんがいましたらご紹介いただきたいと思います。

(呼吸器内科)

呼吸器疾患では、開業以来、当院には咳が止まらないとお困りの患者さんが多くいらっしゃいます。他院で治療も改善しないと言って来院される患者さんが少なくありません。長引く咳の原因に咳喘息やアレルギーなどがありますが、逆流性食道炎でも長引く咳を認めます。呼吸器専門医では見逃される胃食道逆流症も内視鏡検査ができ、適切な診断ができるのは当院の強みです。

発熱、喉の痛み、咳・痰、鼻汁といったかぜ症状は、様々な疾患で認めるので、かぜ症状の診断・治療はかかりつけ医の腕の見せ所です。かぜ症状の方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。



▲明るい雰囲気の待合室



▲内視鏡の設備も完備



医療法人彩進会

桑園駅前内科クリニック

(生活習慣病・予防接種)

高血圧、脂質異常症、糖尿病といった生活習慣病に対しては、薬物治療だけではなく、食生活の見直しのアドバイスを行っています。外来で安定していて、かかりつけ医で治療継続できる方がいらっしゃったら、当院にご紹介してください。



▲クリニック外観

各種予防接種も行っています。桑園地区は医療関係者も多く、インフルエンザ、肺炎球菌予防接種だけでなく、B型肝炎、麻疹、風疹、おたふく風邪、日本脳炎、带状疱疹の予防接種にいらっしゃる方が多いです。随時接種できるよう準備しています。

●市立札幌病院との連携について

市立札幌病院さんとは開業当初から病診連携をさせていただいています。入院や当院では対応できないと判断させていただいたら、すぐに患者紹介ダイヤルに電話をかけ、願っているのが日常診療の一部となっています。

患者さんの中には診療科がはっきりしない患者さんや土曜外来時、当院で対応ができない時には臨床研修センターの先生方にご依頼させていただいています。

いつも早く患者さんを引き受けていただき、大変心強く思います。

検査でも、胸部腹部CT検査をお願いしています。画像CDと読影所見をいただくことで診療の幅が広がりました。

当院にとって、市立札幌病院と連携をとることで、質の高い医療を提供でき、患者さんの安心と信頼に繋がると考えています。

これからも、数多くの症例をお願いしますので、引き続きよろしくお願いたします。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前 9:00-12:30	●	●	●	●	●	●	休
午後 2:00-5:00	●	●	●	休	●	休	休



桑園駅前内科クリニック

札幌市中央区北10条西15丁目1-57  
 プランズ札幌桑園駅前ウエスト1階  
 電話:(011)642-3111

HP:<https://www.sapporo-vitamin-c.com/>



## 肺炎患者の受け入れ先

### お困りではありませんか？



平日の日中、Dr to Dr患者紹介専用ダイヤル(011-788-6570)にご連絡いただき「肺炎患者の依頼」とお伝えください。

当日担当の内科医が呼吸器内科医と協働して診療にあたります。

## 平成30年度地域医療支援病院実績報告 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

### ●医療機器共同利用実績

医療機器	延べ件数	医療機関実数
PET-CT	11	8
CT	444	42
MRI	307	41
超音波	48	14
骨塩定量	92	6
消化器内視鏡	44	2
RI	187	23
その他	3	2
全医療機器計	1,136	138

### ●救急患者件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
救急患者数	526	562	548	676	674	703	649	614	733	765	583	610	7,643

### ●紹介率・逆紹介率

	計
初診患者数	15,421
紹介患者数	12,673
紹介率(%)	82.1%
逆紹介患者数	16,867
逆紹介率(%)	109.3%

### ●開放型病床利用

	計
延べ共同利用医療機関数	20
延べ利用患者数	291
病床利用率(%)	0.14%

## 研修会のご案内

開催月	開催日	研修・セミナー名
12月	23日(月)	第439回臨床病理検討会
	9日(木)	第963回学術研修会
1月	25日(土)	看護実践報告会 看護研究発表会
	27日(月)	第440回臨床病理検討会

開催月	開催日	研修・セミナー名
	7日(金)	クリニカルパス大会
2月	27日(木)	医療安全講演会
	2日(月)	第441回臨床病理検討会
3月	6日(金)	新採用看護職員指導者研修

※研修・セミナーの詳細は、市立札幌病院ホームページを御確認ください。

ホームページもご利用ください

市立札幌病院

